

2016年度
前期授業アンケート
集計結果に対するコメント
【看護学部】

人間環境大学 FD委員会
看護学部・看護学研究科分科会

■集計グループ	学部全学集計
■アンケート回答数	2,223人
履修登録者数	2,491人
回答率	89.2%

■設問別評価集計表

アンケート設問内容	評価構成 (上段：回答人数・下段：構成比)				無回答
	回答④	回答③	回答②	回答①	
	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	
1 あなたはこの授業に十分な回数出席できましたか。	1,930 87%	262 12%	26 1%	5 0%	0
2 あなたはこの授業内容に十分集中して受けることができましたか。	1,326 60%	764 34%	123 6%	10 0%	0
3 あなたは時間外の予習や復習など積極的な学習努力をしましたか。	841 38%	911 41%	404 18%	67 3%	0
4 教員は授業をシラバスに沿って進めていましたか。	1,433 64%	674 30%	88 4%	27 1%	1
5 教員はあなたが授業の予習や復習をするよう、十分に喚起していましたか。	1,104 50%	813 37%	258 12%	47 2%	1
6 教員は授業時間を適切に使っていたと思いますか。	1,450 65%	589 26%	124 6%	60 3%	0
7 教員は学生の質問や意見を引き出すような問いかけをしていましたか。	1,307 59%	723 33%	148 7%	45 2%	0
8 学生の質問に対する教員の反応は熱心でしたか。	1,468 66%	593 27%	117 5%	45 2%	0
9 授業は学生の私語などが無い環境でしたか。	1,070 48%	859 39%	242 11%	51 2%	1
10 授業の進行の速さは適切でしたか。	1,312 59%	684 31%	163 7%	60 3%	4
11 教員は教科書、プリント、視覚教材など教材・教具を適切に使用していたと思いますか。	1,423 64%	645 29%	115 5%	39 2%	1
12 授業内容は理解できましたか。	1,158 52%	801 36%	201 9%	62 3%	1
13 授業の内容に興味・関心を持ちましたか。	1,239 56%	765 34%	173 8%	46 2%	0
14 教員は履修科目の単位修得のために必要な指導を行っていたと思いますか。	1,336 60%	705 32%	121 5%	61 3%	0
15 授業で、自分にとって有益な新しい知識が得られましたか。	1,458 66%	649 29%	84 4%	32 1%	0
16 受けた授業については全体的に満足していますか。	1,364 61%	660 30%	141 6%	56 3%	2

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
1	BA0101	基礎ゼミナール	服部 美穂	8	みなさんとの対話を通して、授業を進めることができました。授業では、これから学ぶ上で必要な基礎的スキルの鍛錬を行い、課題(予習・復習)をすることで強化できたと考えます。グループワークにより調査内容をさらに深めることもできました。今後も対話を大切にしながら、みなさんが自ら学習を深めていけるように学習環境を整え、授業を進めていきたいと思っています。
2	BA0102	基礎ゼミナール	山口 貴子	8	本年度はテキストを使用して演習を行いました。予習・復習を促していましたが、定期的に行うことは難しかったようですので、来年度はスモールステップの課題を考えていこうと思います。 私語が多いと感じられた方もいたようですが、自由な意見交換があり私は良かったと思っています。演習科目ですので、学生同士が話し合いながら学んでいくスタイルを多く取り入れていきたいと思っています。
3	BA0103	基礎ゼミナール	藏本 直子	8	今年度は昨年より受講人数が少なかったため、教員と学生、また学生同士の距離が近く、コミュニケーションが取りやすい雰囲気でした。授業では大学で学ぶ上で必要な基礎的スキルの習熟を目指しているため、自身のテーマについて深く掘り下げられなかったかもしれません。来年度は主体的、計画的に学習が進められるように授業内容を工夫し、更にテーマについて「考える力」を養いたいと思います。
4	BA0104	基礎ゼミナール	櫻井 香	8	教員と学生間の関係性が相互の意欲を高め、16項目中、11項目が100%という結果に結びついたと考える。そして、学生がゼミの課題に真摯に取り組めたことで、引用文献を用いて意見が述べられるようになったことを嬉しく感じる。しかし、数名の学生は時間外の積極的な学習努力が「どちらかといえばそう思う」に留まったため、自己学習への方法や内容に関する指導をさらに強化し、学生のスキルをより高められるよう努めたい。
5	BA0105	基礎ゼミナール	甲村 朋子	8	学習ペースが学生ごとに異なり、理解度もそれぞれであるため、各個人対応は必須であると思われる。グループ全体に予習・復習の必要性について、基礎ゼミナールの内容を伝えただけで、それぞれの進行に合わせたゼミナールの持ち方を考えることが今後の課題であると思われる。
6	BA0106	基礎ゼミナール	星 貴江	8	個々のワークやグループでのワークをそれぞれ行い、学生が主体的に学ぶことができ、一方的な授業にならないように、授業を展開し進めた。学生同士の親睦も図ることができ、積極的に意見交換はできたが、「考える力」や「まとめる力」を今後は強化していきたいと考える。また、予習復習に関しては、学習を習慣化することができるように、来年度からは積極的に喚起していきたいと考える。
7	BA0107	基礎ゼミナール	大林 実菜	8	全員が欠席することなく受講できたため、授業内容に遅れる学生はみられなかったことが良かった点だと思います。授業では、教科書を中心に進め、補足がある内容に関しては資料も追加するなど、工夫しました。積極的な学習努力をしたか、について「そう思わない」という意見はありませんでしたが、もう少し積極的な学習努力がしてもらえるように工夫する必要があると思いました。PCスキルは特に問題はありませんでした。来年度からはレポートライティングスキルのための時間をもう少し追加していこうと考えています。
8	BA0108	基礎ゼミナール	近藤 絢弓	11	授業全体としては満足度が高い評価となりました。ディスカッションの授業では意見を1人ずつ引き出すことで回を重ねるごとに討論内容の質も向上していったように思います。アンケート回答者全員から授業が有益であったとの評価が得られました。しかし、授業中、学生の私語があることで、他学生の勉学の妨げとなってしまうことがありましたので、今後全員が授業により集中できるように努めていきたいと考えております。
10	BA0110	基礎ゼミナール	三浦 藍	11	殆どの学生さんが熱心に授業を受け、課題に取り組んでいたと思います。特に最後のグループワークのプレゼンテーションおよびディスカッションは、レベルも高く、議論も活発で素晴らしいと思いました。また、レポートは字数が多めの設定でしたが、ほとんどのの方が大変よく書けていたと思います。ここでの学び(グループワーク、レポート作成スキル)を今後の学習に活用してくれることを望みます。次年度以降は、学生への予習・復習の喚起、及び私語に対する注意をより積極的に行おうと思います。
11	BA0111	基礎ゼミナール	永坂 和子	11	初日は、シラバスを用いて、目的・授業内容・スケジュール、ゴール(7月末)について学生の意見を聴きながら話をした。そのためか、グループ発表や個人発表においても質問をしたりして活発だった。また、レポート作成は、文献収集、書き方において困難が生ずることを前提とし、何回でも確認、修正を行った。文献を通して、「考える」「書く」ということを今まで苦手としていた学生が多くみられた。今後、日数は妥当であるが、グループディスカッション等で、「自分の意見を述べる」「考える」というような文言やトレーニングが課題ではないかと思う。

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
12	BA0112	基礎ゼミナール	荒金 英里子	11	授業はシラバスに沿って進めるように心がけました。学習課題が教科書の内容だけでは不足する部分に関しては、学生の関心のある内容を基に追加資料を作成・配布し、学生の興味・関心を引く授業となるように心がけていました。授業については全体的に満足したとの回答が得られ、嬉しく思います。しかし、教員からの予習・復習の喚起は不足していたと感じた学生もいましたので、今後は予習・復習を促すように心がけていきたいと思ひます。また、レポートの書き方に関してはもう少し指導が必要であったと感じましたので、強化していきたいと思ひます。
13	BA0201	人間環境学	片山 幸士	110	人間環境学は、数学や物理学のように体系が確立された学問でない。したがって、受講する学生には、幅広い基礎力が求められる。また講義する側にも数々の工夫が求められている。また受講生が講義に集中できる教室の広さ、形態(階段教室)を、整えることも大切である。
14	BB0101	英語 I	西牟田 祐美子	20	アンケート結果を拝見したところ、全ての項目に置いて、過半数の肯定的な回答が見られました。94%の受講者が「授業について全体的に満足している(どちらかというと、も合わせて)」回答しています。また83%が「授業が理解できた」と回答していました。これは前期最後に行った復習テストの結果と一致していると思ひます。授業中はもろもろのタスク(英語の歌の暗唱、数々のショートテスト、時制に関するゲーム、休日にした事についてのポスター発表等)に積極的に参加していた印象があります。ただ若干の受講者が私語について不満を回答していたので後期はそれの点に関しても満足度の高い授業環境作りを一層専念するつもりです。
15	BB0102	英語 I	Cabrido Erwin Figarola	22	In accordance with the syllabus, the main focus of the course was on speaking and listening, with some reading and writing exercises. The textbook "English for Nursing 1" was religiously followed which gave the students plenty of opportunities to improve their English skills. The students studied about several topics that reflect the latest development in nursing in an all English environment. It was a pleasure teaching this class. Perhaps there was a good mix of students in this class. Most of the students got along with each other well and were highly motivated. The result was a class they look forward to every week.
16	BB0103	英語 I	Ngairé Anne Keenan	22	They have worked very hard this term to overcome shyness and lack of confidence in their speaking skills. In the beginning this class was rather shy and reluctant to risk making mistakes but as the term progressed, their diligence and hardwork began to pay off and they themselves could see the progress they were making. Although many students began the course feeling that English was a dead end weak point, they have risen to the challenge and become adept communicators with particular focus on accuracy. I would like to see them relax more and worry less about mistakes, but all in all I'm very pleased with the progress they have made so far. I'm impressed with their study approach and really enjoy teaching them. I'm looking forward to the second term.
17	BB0104	英語 I	Edward Van Der	24	授業の目標を達成することができた。クラスのほとんどの生徒が授業に真剣に取り組むことができた。数名の生徒はもう少し真剣に取り組むことができたでしょう。アンケート結果は平均よりもよく、レッスン内容に満足してもらっていると思ひます。特別な改善は必要ないものの、多くの生徒がゲームを楽しんだとのコメントだったので、今学期はより多くのゲームを取り入れて授業を行う予定です。
18	BB0105	英語 I	Lisa D. Mandziak	22	The students participate fully in all class activities, They seem committed to doing the work assigned them and give support to their fellow students. They are fun to teach!
19	BB0201	英語 II	西牟田 祐美子	19	アンケート結果を拝見したところ、ほとんどが90%から100%の肯定的な回答をしていました。「授業に対する満足度」、「理解度」、「興味関心」の項目は全て100% (「どちらかと言えば」も合わせて)と肯定的回答がされていました。これは日ごろの授業中の積極的な発言や、タスク(英語の歌の暗唱、数々の単語テスト、時制、単語に関するゲーム、休日にした事に関してのポスター発表等)に対する意欲的な取り組みにも十分見ることができました。後期も受講者にとって更なる満足できる、有益な授業を提供するよう努めます。

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
20	BB0202	英語Ⅱ	Cabrido Erwin Figarola	24	The course proceeded in accordance with the textbook "English for Nursing 1" which was written by health care practitioners and designed for students in vocational education and for employees in training at work. The students were exposed to specialist vocabulary related to the nursing profession. There were plenty of opportunities for students to speak, listen, read, and write in English. This class is a bit challenging. Majority of the students participated actively and enjoyed the lessons. However, some students found it difficult to focus on the lessons and sometimes talked loudly with each other. Clearly, they should be reminded to concentrate on the lessons and avoid disrupting the class.
21	BB0203	英語Ⅱ	Ngairé Anne Keenan	23	This is a very lively and communicative class who enjoy the activities in class and are willing to participate fully in all tasks. They are not always as prepared as they should be and at times they become distracted from the task at hand. Although it is always easy to understand what they say in class and communicate with them, their accuracy can be erratic due to lack of focus and attention to instruction. However, they have good chemistry and are able to assist and cooperate with each other. With a little more effort their accuracy will improve and their communication skills are already very good. It has been fun to teach them and I am looking forward to the second term.
22	BB0204	英語Ⅱ	Edward Van Der	22	授業の目標を達成することができた。すべての生徒にやる気があり、前向きに真剣に取り組むことができたとも良い雰囲気だった。アンケート結果は平均よりもよく、レッスン内容に満足してもらえていると思う。特別な改善は必要ないものの、多くの生徒がゲームを楽しんだとのコメントだったので、今学期はより多くのゲームを取り入れて授業を行う予定です。
23	BB0205	英語Ⅱ	Lisa D. Mandziak	22	The students are very positive and try their best in each class. They are not deterred if they don't understand at first. They challenge themselves and are always able to accomplish the tasks. A very enjoyable class!
24	BB0701	コンピュータ基礎・情報処理法	市川・西川	55	<金3> 授業への参加、講義への関心、理解、満足、講義進行、プリント等の講義資料に関しては過半数が「そう思う」と回答し、全学集計に比べても高い。シラバスに沿った授業、授業時間の適切性、学生の質問への反応、講義資料、単位修得のための教員指導、有益な新しい知識の習得、授業全体への満足は70%以上が「そう思う」と回答している。授業では単にコンピュータ技術を習得するばかりでなく、看護系医療職者を指す学生に適した講義資料を用意し、自ずからの考えを表現することにも視点を置いた。個別購入のPCTラブルやPC初心者には授業時間外にも個別対応した。
				55	<金4> 授業への参加、講義への関心、理解、満足、講義進行、プリント等の講義資料に関しては過半数が「そう思う」と回答し、全学集計に比べても高い。シラバスに沿った授業、学生の質問への反応、講義資料、単位修得のための教員指導、有益な新しい知識の習得、授業全体への満足は70%以上が「そう思う」と回答している。授業では単にコンピュータ技術を習得するばかりでなく、看護系医療職者を指す学生に適した講義資料を用意し、自ずからの考えを表現することにも視点を置いた。個別購入のPCTラブルやPC初心者には授業時間外にも個別対応した。
25	BC0101	日本国憲法	木幡 洋子	30	目立つマイナス評価として学生の予習・復習の自習に対する評価がある。専門科目ではないこと、選択科目であることから、宿題や確認テストをあまり課さない方針をとったことが原因だと考えられる。また、授業内容に対する理解(「そう思う」36%)と全体的満足(「そう思う」43%)に対する評価も低い。そこで今後の改善として、こまめに確認テスト行う、憲法と自分の関わりについて深く考えさせるということを試みていきたい。
26	BC0201	愛知を学ぶ	朝井 佐智子	24	熱心に15回の授業に参加してくれたと感じている。概ね良い評価をいただいたので、これを励みとして今まで以上に良い講義となるよう務めていきたい。また、予習をできるように、前週の授業で少し説明をし、復習できるよう参考図書や見学施設の紹介なども積極的に行っていきたい。

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
27	BC0401	教育心理学	宮田 延実	24	受講者のほとんどが熱心に授業に参加し、プリント記入や授業後の課題など頑張っており、取り組みが素晴らしかったです。しかし、提示する理論が網羅的になり、時間不足になることもありました。そのため、パワーポイントの枚数が多くなり、説明が表面的になり、その結果、メモする時間が十分確保できなかったこともあったと思います。今後は学修内容をもう少し精選し、受講者の意見を述べ合う場面も設けていきたいと考えています。
28	BC0501	フィットネススポーツ	伊藤 敦子	16	今期の学生は運動に対してとても意欲的であり、本科目の目的をかなり達成できたと思う。学生たちもおよそ満足な評価を出しており、日ごろの運動不足の解消にも役立っていると思われる。今後は看護に携わる人として、健康と運動の関係についてもっと自覚できるような授業を実施していきたい。
29	BC0502	フィットネススポーツ	押村 かな	24	貴重なご意見ありがとうございました。アンケートの結果を真摯に受け止め、今後の授業づくりに活かしていければと思います。数少ない身体を動かす授業ですので、学生の皆さんには楽しんで授業を受けていただけるよう、今後より一層努力していきたいと思っております。学生の皆さんも日々、それぞれの夢に向かって頑張っていただければと思います。
30	BC0801	生命倫理学	佐藤 芳	15	(2)「授業内容に集中した」が79%、(13)「授業内容に興味・関心を持った」が86%、(15)「有益な知識が得られた」が86%であるのに対して、(3)「予習・復習など学習努力をした」が29%、(5)「教員が予習・復習をするよう喚起したか」が29%である。予習・復習をさせながら、更なる学習効果を目指していきたい。
31	BC1201	社会保障論	塚本 鋭裕	62	授業に関しては、社会保障という幅広い制度や仕組みを学ぶ授業となっています。そのため、1回ごとの授業において説明する内容でも理解するには大変だったと思います。できるだけ日々の家庭生活にひき付けて説明し、事例を通して、学生とのやり取りも授業の中に組み入れさせていただきました。初めて見聞きする制度や仕組みでもあったせいか十分に理解するまでに至らなかった部分もあったようで、興味関心が広がらなかったとのコメントも頂いています。また、資料の多さや授業のスピードが速かったとのコメントも頂きました。今後の授業に生かせる限り皆さんの理解につながる授業に向けていきたいと思っています。
32	BC1401	ヨーロッパの芸術文化	日比野 雅彦	56	昨年の反省から今年度は教材を印刷して配布し、講義後の参考資料として活用できるようにしました。その結果、レポートにその資料を利用している学生も見られそれなりの成果はあったようです。ただ、講義内容とほぼ同じものが手元にあるため、受講態度に緊張感が欠ける傾向にあったようです。そのため、授業中の私語が若干多くなったようです。来年度はこの点も含めて授業運営方針を検討したいと思っております。
33	BC1601	経営学の基礎	磯貝 明	16	高い評価が得られたが、これは、受講生の積極的な出席により得られた評価であると考えており、受講生に感謝したい。とりわけ、受講生全員がほぼ遅刻・欠席なく、また私語や居眠りなどのない受講態度で臨んだ成果が試験結果に表れている。今後は、さらに興味・関心の高まるよう身近な事例も紹介しつつ、満足度の高い講義を展開し、看護学部の学生にも社会人の教養として社会科学系の知識を身につけてもらえるよう工夫していきたい。
34	BD0201	教育原理	折出 健二	12	看護師を希望しさらに養護教諭の資格を、という受講生たちの志にそうように、教育思想の基礎的なこと、とくに人間発達の原理的な問題を中心に講義を組み立てた。全体としては全学平均並みの肯定的な受講の反応であった。最後の授業満足度で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」で100%になったが、「そう思う」が全学平均に比べると差が目立つので、受講生の関心に引き付けた題材の工夫や現代の教育問題への迫り方も今後はさらに工夫したい。学生の質問への反応で肯定意見が高かったことは今後も生かしていきたい。
35	BD0401	教育課程論	今井 理恵	7	講義科目ではありますが、できるだけ学生が主体的に参加して教育課程に関わる諸課題についての認識を深められるように、グループディスカッションなども取り入れながら進めました。受講生同士が問題を共有しながら理解を促進することができたと思います。予習・復習については、未習事項に対する学習意欲の形成、既習事項の知識定着のためにより積極的に働き掛けていきたいと思っています。
36	BE0101	解剖生理学 I A	石黒 士雄	112	回答の集計で、「あまりそう思わない」の部が多いのは「私語がない、内容の理解」の項目である。大学生に席の指定は疑問であったが、やむをえずそう変更した。内容の理解では全くそう思わないの部に7%が選んでいる。どうしたものか？

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
37	BF0601	病理学	太田 美智男	101	病理学は国試に必要な科目だが、疾患の成り立ちを理解するためには生化学や生理学の知識が必要であり、学生の積極的な勉強が必要となる。いかに学生の学習意欲を高めるかについて、更に工夫をしなければならない。
38	BF0201	疾病・治療論 I	石黒 士雄	101	”そう思う”で全学集計に比べ低い項目に「進行の速さ、内容の理解」が低い。その理由として時間数に対して内容が多すぎる可能性がある。来年は内容を絞る必要があるようだ。
39	BH0101	看護学概論 I	篠崎 恵美子	112	全体的に目標は到達できたと考えている。コミュニケーションペーパーへのフィードバック時間について、長いと感じる学生とちょうど良いと感じる学生がいるため、今後は確認しながらフィードバックをしていく。配布しているノート(冊子)については、あくまでも資料であるため、学生自身で活用していただきたい。次年度はそれを活用した自主的な学習を強化していく。
40	BH0601	診療援助方法論	山口・伊藤	100	この授業では、看護技術に知識を学びました。専門基礎知識を学ぶ他の科目とのつながりが大切であることをお知らせしたいと思い、知識を想起する形で行ったため、それらの知識が看護に役立つということを実感していただけたようです。毎回、予習・復習課題を課していましたが、みなさんよく頑張っていたと思います。この授業では確実に頭に入れてほしい知識が沢山あるため、中間テストを取り入れました。十分に学習して臨むことができていると思います。今後は大切な部分はより強調して、皆さんの理解を助けるような授業の工夫をしていきたいと思っています。
41	BH0701	診療援助方法演習	山口・伊藤・篠崎 服部・大林	100	生活援助論からの積み重ねとなりますが、より患者に侵襲を与える援助とあって、みなさん、真剣に参加している様子がみられました。演習内で体験できない技術があったことについては、演習科目の精選や演習方法の工夫が必要かと思えます。実技試験を行いました。技術の習得には繰り返しの自己学習が必須となります。セルフトレーニングに必要な物品は、やはり皆さんが責任を持って管理すべきでしょう。最低限の取り決めを全員が一致して守ることで、十分なセルフトレーニングの時間は確保できたと考えています。
42	BI0101	小児看護学概論	倉田 節子	100	この授業では、小児の各発達段階における特徴、子どもと家族を取り巻く環境、健康増進と家族への支援および小児看護の役割について学ぶことを目的とし、子どもとの接触経験の少ない学生がイメージしやすいような授業資料作成を心がけ、視聴覚教材も取り入れた。どの項目も平均的であったが、予習・復習などの自己学習については低い評価であった。今後は学習課題をより具体的にする必要がある。出席の確認をするシャトルカードで授業の感想、質問を書いてもらったが、回数を追うごとに学生の学びの内容が深まっていた。その内容を予習・復習につなげていくように検討する。試験の範囲、出題数が多いとの意見については、国試との関連を考慮しながら検討するとともに、授業内で重要ポイントがよりわかるように工夫する。
43	BI2101	母性看護学概論	内藤 直子	102	本科目は、母性と父性の生理・心理・社会的特徴の理解と関係法規を学ぶことが目的です。基礎体温測定体験や、大府市と名古屋市の子育て支援を土曜にPBL法で参加しました。毎回講義後学生評価は貴重な体験の学びやホルモンバランスを知ることの評価が多数です。一方個々の質問に十分な答えが欲しいことやパワーポイントが後部座席では見ずらく、雑談等で講義の声も聞きにくい、教材モデル提示でマイクを外すと聞こえない等コメントも多く、今後は前・後部と2回移動で見せて工夫したり、学生が自主的に予習復習時間の増加があるよう講義を目指す予定です。
44	BJ0101	成人看護学概論	柴山・加藤	102	1)本科目は成人看護学のベースになる科目である。成人の身体的、心理的および社会学的な従来からの特徴や近年の変化等を概説した。また、臨地実習や使用したり、過去の国家試験でよく出た理論を中心に諸理論を概説した。2)学生諸君からのコメントに対して、応えられるようにしたいと考える。
45	BJ2101	高齢者看護学概論	臼井・安藤	102	講義に高齢者看護学領域の教員が全員参加することの意味は、教員にとっても他の教員の講義内容を聞くのは初めてのことであり、領域全員の教員が、講義内容を確認し合い、その後の臨地実習に生かすという目的からです。しかし、学生は教員が複数教室に入ることを威圧的に感じていることがわかり、学生の意向を尊重してその後は、直ちに変更しました。また、教員の「文句が多い」という指摘がありましたが、言葉には十分留意し誤解を生じさせないように注意して、学生の学びを支援するよう心がけたいと思います。

NO	授業コード	授業科目の名称	担当教員	履修登録者数	コメント
46	BK0101	在宅看護学概論	福田・山本	102	<p><福田>シラバスに沿って授業を進めることができた。出席率もよく、73%の学生が有益な新しい知識が得られ、授業内容の理解度は71%が「そう思う」であった。授業では、障害や疾病を持ち生活している療養者・家族について、理解が深まるよう学生自身の生活体験を活用し講義を行った。また、在宅看護、訪問看護がイメージしやすいように視聴覚教材を使用した。概論科目であるが、知識のみを伝えるのではなく、「思考・判断」が向上するよう学生参加型の講義を取り入れて授業を組み立てているが、今後は、より興味を持って知識が深まるよう工夫を行いたい。</p> <p><山本>アンケート結果はほぼ全ての項目で全学集計結果の割合を上回っていた。また、授業に対する満足度は「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせると99%であったことから、授業内容については評価できると考える。しかし、学生から、テキストの線引きが多すぎて分からなくなることや授業の中で意味が分かりにくいところがあったと評価を得た。授業では重要な箇所を覚えてもらうため、テキストに線引きを実施させたが説明不足であった。また、分からない説明に対し、専門用語をなるべく使用せず、理解したかどうか尋ねながら進める必要があったと反省する。したがって、これらの意見を受け、学生一人一人の立場に立った授業方法を工夫し、取り組むことにする。</p>
47	BK2101	地域看護・公衆衛生看護学概論	三徳・森川	100	<p>学生の学習支援として、講義ごとに小テストを行い、復習の習慣をつけるようにする。教室後部座席の私語をする学生には、これまでよりも厳しく指導する。</p>
48	BK4201	国際看護学Ⅱ	西川 まり子	102	<p>科目の目的:この授業では、多文化共生社会に向けての看護を医療人類学と併せて学ぶ。将来、施設における文化的背景の異なる人々へ多文化看護を提供する担い手、さらにリーダー的役割を發揮する基礎を日本の現状と交えて学ぶことにある。</p> <p>受講者からのコメント:国際看護の演習をとおして、異文化での看護の理解を深めることができた。また、病気になって、受診する時、患者も看護師も文化や言葉の違いで、多くの問題があることが理解できた。映像をとおして、通訳等の役割も学べた。医療人類学に関係する看護の理解は教科書を読んでも難解なところがあった。</p> <p>今後の課題:受講対象者にとって、自己のアイデンティティの成り立ちを知ることや医療人類学に関連する看護の理解は、容易ではないため、理解しやすい授業の工夫がさらに必要である。国際看護の演習については、今後はその意味を十分説明しながら行いたいと考える。</p>
49	BK6101	精神保健看護学概論	郷良 淳子	102	<p>この科目は学生にとっても身近な事柄(自分や周囲の人のメンタルヘルス)であり、主体的に考えてもらうように、講義に加え、演習やグループワーク(および発表)、当事者の方に経験を語ってもらうなど、工夫をした。そのためか、おむね学生から肯定的な評価を得られた。一方で、予習復習が十分にできておらず、これらの工夫が乏しかったと思われる。また参加型の授業内容を工夫し、学生がより主体的に学べるように工夫をしていきたい。</p>
50	BL0201	看護過程	篠崎・内藤・三浦 伊藤・山口・大林	100	<p>講義と演習であったため、事例について模範となる展開例がみたい、資料がみたいという意見が数名あった。次年度は、事例展開するにあたり、資料の提示などを検討していく。また私語もなく居眠りも少なく熱心に授業を受けられていたと考えている。オムニバスで行った、オレムのセルフケア看護理論は、精神看護援助論や精神看護学実習で、ロイは母性看護学での学習の基盤となるため、今後とも継続して学習することを望む。</p>